



National Institute of Technology, Toyama College

02 校長・副校長ごあいさつ

03 平成28年度入学式

04 1学年主任、担任からのメッセージ

06 新入生の抱負

08 北斗祭 ー第8回高専祭ー

10 学生会活動

12 学生寮から

14 新任教員紹介/学級担任一覧

15 News & Topics

16 夏季オープンキャンパス/今後の行事予定



校長
石原 外美



教えてもらう姿勢から、 自ら学ぶ姿勢へ

学生諸君には、学業や課外活動に忙しい日々を過ごしているものと想像しております。多忙であるからこそ、いかにして日々の仕事を実施していくのか、そのための工夫が必要です。ぜひ、自身をマネジメントする力を育成してください。

さて、新入生諸君は、本校の授業を受講してみて、どのような感想を持っていますか？ 高専の授業では、中学校における授業と比較して、教える量が多く、そして授業のスピードも速いことに気づきませんか？

中学校では、授業の中で教える量が少なく、そして、丁寧にゆっくりと教えることが可能でした。そのため、予習・復習など特になくとも、授業内容をよく理解できたと思う学生諸君が多くいるのではないのでしょうか。しかし、高専では、予習・復習をしないと、授業内容を理解することが困難になるのではないかと思います。

諸君には、授業の予習・復習を薦めます。1時間の授業ならば、1～2時間の予習・復習が必要となります。本校において、「興味・関心を持った事柄を、自ら調べ勉強する習慣」をぜひ身につけてください。「一生勉強」という言葉があります。「自ら勉強する習慣」が諸君の未来を拓いてくれるものと信じています。諸君の成功を祈っています。

本郷キャンパス
副校長
西田 均



いろいろなことに チャレンジ

本校の卒業生には社会で中心的な役割を持って活躍されている方がたくさんいます。先日、第1期生の皆さん18名が本郷キャンパスを訪問されました。多くはリタイアされている方々ですが、皆さんからは誇りと自信が感じられ、輝いて見えました。また、本校の活動に関心を持っておられ、本校が卒業生の方々に支えられているのだと感じました。新入生と在学生の皆さんには、ぜひ、卒業生の先輩ようになってほしいと思ったところです。

本校の教育目標の一つは、世界で活躍できる、世界の産業構造が理解できる創造的で実践的な技術者の育成です。このために、本校では海外インターンシップや海外研修プログラムを充実・発展しようとしています。学生の皆さんがこのようなプログラムに積極的に参加することを願っています。私達教職員は学生の教育活動の支援にこれまで以上に力を注いでいきますので、学生の皆さんには、失敗を恐れず、海外研修などいろいろなことにチャレンジすることを期待しています。

最後になりますが、保護者の皆様にはこのような学生の自発的な活動を応援くださいますようお願いいたします。

射水キャンパス
副校長
新開 純子



自ら一步を 踏み出す

中学校までの義務教育を終え、自ら高専生という道を選んだ新入生の皆さんは、高専の5年間をどう過ごしますか。自ら少しだけハードルの高い課題を設定して、達成したときの喜びを味わってみませんか。資格試験でもクラブ活動でも良いです。また、本校の海外研修や海外インターンシップ等を目指すのも良いです。

目標が決まれば、何をすべきかが自ずと決まってきます。文部科学省の「トビタテ!留学JAPAN」のような留学支援制度を活用して、海外留学への一步を踏み出している高専生もいます。「若い時の苦勞は買ってでもせよ」という諺がありますが、目標を決め、達成するための苦勞は、自分を鍛え、人間力を高めてくれます。

高専は皆さんの個性を尊重し、型にはめるような教育はしません。知力、体力ともに大きく伸びる高専時代に、色々なことにチャレンジする最初の一步を踏み出す皆さんを我々教職員は、全力で応援します。一緒にがんばりましょう。

平成28年度 入学式

Entrance Ceremony



325名が新たな一歩を踏み出す

平成28年4月5日(火)、平成28年度入学式がオーバード・ホールにおいて挙行されました。同所で挙行される本校入学式は、これが7回目となります。来賓、教職員、保護者が見守る中、本科生(6学科)277名、留学生(本科3年次編入)5名、専攻科生(3専攻)43名、計325名が新たな一歩を踏み出しました。式では、入学者の名前が一人ずつ読み上げられ、石原外美校長から入学許可が宣言されました。

石原校長から「初心を忘れずに、勉学に励み、時には思うようにいかず辛い時期があるかもしれませんが、『心と体の健康』に

十分気をつけて、楽しく充実した高専生活を送ってください」と式辞が述べられました。続いて新生を代表し、機械システム工学科・小林葉さんが、「日本の未来を担う学生として、明確な目的意識をもって勉学に励んでいきたい」と、また専攻科国際ビジネス学専攻・山田薫さんが、「本科で身につけた基礎学力を深めると同時に、さらなる専門知識を探究し、技術者・ビジネスパーソンに必要な研究・開発能力や分析・探求力の向上を目指してまいります」と、それぞれの思いを込めて誓いの言葉を述べました。

平成28年度新入生数

本科新入生	277名
機械システム工学科	42名
電気制御システム工学科	60名
物質化学工学科	46名
電子情報工学科	40名
国際ビジネス学科	45名
商船学科	44名
外国人留学生(本科3年次編入生)	5名
機械システム工学科	1名
物質化学工学科	3名
電子情報工学科	1名
専攻科新入生	43名
エコデザイン工学専攻	27名
制御情報システム工学専攻	13名
国際ビジネス学専攻	3名



本科代表 機械システム工学科
小林葉さん



専攻科代表 国際ビジネス学専攻
山田薫さん



校長式辞



校歌斉唱

1 学年主任、担任からのメッセージ

Welcome to Toyama Kosen!!

本郷キャンパス

1 学年主任
富田 尚



「いま、ここ」を存分に生きる

「いま、ここ」の自分だけを意識する
過去の失敗や、未来への不安を忘れる
「いま、ここ」を存分に生きる
すると、心配から解放される
身体にエネルギーが満ちてくる

これは、私が大学生の時にアメリカ文学を教わった加島祥造先生が90歳の時に、ある雑誌に寄せられた言葉である。英米文学研究者として、詩人として、翻訳家として著名であった先生は、70歳の頃から信州伊那谷に居を移され、「老子」研究に傾倒された。この言葉には、老子の思想が色濃く込められている。素晴らしい富山高専へようこそ。新入生の諸君もそして私も「いま、ここ」富山高専を存分に生きよう。

本郷キャンパス

機械システム工学科
1 年担任
横山 恭子



基礎・基本を大切に

新入生の皆さん、ようこそ富山高専へ。この高専通信の届く頃には、電車・バスを使った通学や90分授業にもすっかり慣れていくでしょう。これから5年間、富山高専で勉学に励み、高度な専門分野に進んでいく皆さんにとって、最初の1、2年は基礎・基本を身につける大切な時間です。オリンピック選手に例えるならば、競技に臨む前のウォーミングアップといったところです。一般科目だからといって疎かにせず、コツコツ学習を積み重ねる習慣を身につけましょう。やがてグループごとの実験・実習、共同作業が増えていきます。お互いに信頼し専門を高められるよう、クラスの仲間と協力・協調していきましょう。皆さんの高専生活が充実したものになるよう、精一杯サポートしていきます。

本郷キャンパス

電気制御システム工学科
1 年担任
宮崎 真矢



「高専生」の君たちへ

1年電気制御システム工学科の皆さん、ようこそ富山高専へ。この学校に来る決心をしてくれたこと、こうして君たちと出会えたことを、うれしく思います。この文を読む頃、君たちは中間試験の痛手から立ち直り、次の勝負を目標にしていることと思います。そう、もう気づいたと思いますが、高専の勉強は難しいのです。したいことを後回しにしたり手放したりしないと追いつかないのです。頭に詰め込んでもそれが何か腑に落ちないのはつまらないのです。これからの5年間、やらかし、しくじる中で、色々な力を育ててください。苦しい中で「フッフ」と不敵に微笑み目の難題にぶつかってゆく、そんな格好いい男、格好いい女に君たちが成長することが、わたしの願いです。

本郷キャンパス

物質化学工学科
1 年担任
足立 繭子



何を掴むかは諸君次第

諸君の入学した高専では、5年ないし7年もの間、大学入試等に煩わされずに、自分の可能性を存分に追究できます。しかし、その長いようで短い貴重な時間に何を掴むかは、人によって随分違います。同じものを見、同じことを聞き、同じ体験をしたとしても、そこから何が掴みとれるかは、各々の有するアンテナの感度によって違うのです。君らには、いつでも感度良好のアンテナを四方に張り巡らし、貪欲にさまざまなことを吸収し、自分を外へ外へと押し開いて、自分の可能性を追究してほしいと願います。教員や学校は君らにそのきっかけを与えることしかできませんから、何を掴むかはまさに諸君次第なのです。どうか意識のアンテナを磨いて、ぜひ自らの手で何ごとかを掴みとってください。

射水キャンパス

1学年主任

岡部 寛子



先人との豊かな出会いを

入学おめでとうございます。楽しかった北斗祭、心配だった中間試験も終わり、高専という不思議な場所に少しずつ慣れてきた頃でしょうか。その場にいると気づかないものですが、今皆さんはとても恵まれた場にいます。課題や試験はあっても過酷な入試がありません。貴重な10代の終わりを豊かな時間とともに過ごすことができるのです。その時間は、皆さんがこれから人生を如何に生きるかを考える大切な時になるはず。海図を描くのは皆さん自身。でも私から、一つだけお願いがあります。どうかその中に「本との出会い」を加えてください。多くの先人の思索と出会ってください。それは皆さんの人生に豊かな指針を与えてくれるでしょう。さあ新しい海図を描き、高専という航海にともに出発しましょう。

射水キャンパス

電子情報工学科
1年担任

寺崎 由紀子



5年後の自分は？

ようこそ富山高専へ。皆さんそれぞれにいろいろな思いを持って入学してこられたことと思います。この学校が皆さんにとってどんな場になるのかは、皆さんの5年間の過ごし方によって大きく変わります。高専では、言われたことだけやっていたらそれなりの、自分からいろいろなことを求めていけばそれ相応の結果が自分に返ってきます。目先の楽さに甘えず、自分を見つめ積極的に行動して、なりたい自分を作り出していきましょう。それから、同じクラスや部活動だけでなく、クラスを超えて、先輩・後輩の枠を超えて仲間を見つけることができるのも、好きなことにとことん打ち込めるのも高専ならではです。さて、あなたはどんな5年間を過ごしますか？

射水キャンパス

国際ビジネス学科
1年担任

岡本 勝規



何をしようか？

学生生活の中のほんの一面ですが、知っておいてほしいこと、気にかけてほしいことがあります。まず、学校は労働力を育成する場でもあるということです。皆さんはいずれ、社会へ労働力として出ていくこととなります。皆さんは、価値を獲得せねばなりません。この5年間は、価値獲得に向けた戦略実行期間なのです。カリキュラムは、価値付加のための加工工程であり使用できる資源です。積極的に利用してください。しかし、どんなに戦略や能力があろうと、精神のバランスを崩すと何も発揮できません。理屈はあれど所詮は人間のやることですし、価値も多様です。だから一つだけ気にかけてください。いつも希望を失わず心の平衡を保とうと。学生生活で担任が何より望むことです。

射水キャンパス

商船学科
1年担任

近藤 周吾



開拓者になろう

僕の前に道はない
僕の後ろに道は出来る

これは高村光太郎の有名な「道程」という詩の一節です。富山高専は非常に長い伝統を誇る学校ですが、その伝統にあぐらをかいてはいけません。在校中、あるいは卒業後でもよいので、これまでの先輩方がなしえなかった快挙をなし遂げようとする気概を持ってほしいものです。そのためには、甘えの許されない厳しい環境（「自然」）に身をおくこと、そして誰かに依存するのではなく、自立（「一人立ち」）することが大切だと「道程」一篇が教えてくれます。さあ、勇気を持って、新しい伝統を切り拓いていきましょう。

新入生の抱負

New Students' Voice!!

楽しい高専生活



機械システム
工学科1年
高慶 泉美

夢の高専生になって、私の感じたことは2つあります。1つ目は、クラスが賑やかだということです。第1学年の機械システム工学科は、担任の先生の歴史1の授業中、特に盛り上がります。慣れ親しんだ先生で、質問がしやすいからです。2つ目は勉強の難易度が高いことです。高専の1回の授業は90分と長く、初めはなかなか集中力が続きませんでした。中学校のときより、内容がずっと専門的になっています。だから、部活動のない日はクラスの皆で教えあったり、先生に聞きにいったりしています。皆で協力して無事に進級できるように、がんばっていかうと思います。

「高専生」の特権



電気制御システム
工学科1年
門口 正承

入学から少し経った今、僕は高専の生活にも慣れ、とても充実した生活を送っています。授業は、確かに大変だと感じることがよくあります。しかし、高専の先生方は、学生を全力でサポートして下さるのはもちろん、普通高とは違い、研究者としても活動しており、より専門的な知識で助けてくださったり、学生のよい刺激になってくださります。さらには、専門学校ということもあり、将来は「エンジニア」としてものづくりで社会の役に立ちたい人がたくさんいます。そのため、同じ夢に向かって互いに高めあいながら学習することができます。この恵まれた環境の中で僕もエンジニアという夢に向かって仲間とがんばっていきます。

高専での生活



物質化学工学科1年
岡本 誠一郎

高専に入学して、私は中学校の頃の生活とのあまりの違いに驚きました。90分の授業、とても自由なスタイルの部活動や校風、驚くことばかりの実験。そのどれもが、今までとはまるで違っていたので、最初のうちは戸惑いました。しかし、学生の自主性を重んじ、やりたいことができる高専の環境は、目標を持つ者にとっては最高の環境だと思うようになりました。この環境の中で、私は吹奏楽・軽音楽の部活動と、学習に励むことを目標にすることにしました。部活動では特に作詞・作曲、学習では特に理数科目に、それぞれ力を入れたいと思っています。今はこの二つを目標として、高専生活の充実を図る所存です。



ものづくり基礎工学実験 (本郷キャンパス)



弓道部 (本郷キャンパス)



球技大会 (本郷キャンパス)



情報基礎 (本郷キャンパス)



授業風景 (本郷キャンパス)

新入生合宿研修 日程:平成28年5月9日(月)~10日(火)



これからの
高専生活



電子情報工学科1年
三松 咲穂

私は富山高専に入学して、毎日充実した生活を送っています。この学校は年齢や国籍が幅広く、いろんな学年の人や先生方と話す機会があり、とても親しみやすい雰囲気です。また、校内設備が整っていて、授業で扱う機械や工場にいつも驚かされます。特徴の1つである90分の授業では、1回で習う内容が多くなり、大変だと感じることもあります。ですが、先生が詳しく解説してくださったり、授業以外のことに関連づけて話をしてくださるので、新しい知識も身につけることができ、とても楽しいです。高専での生活は、まだ始まったばかりです。自分なりの目標を持ち、多くの人たちと触れ合いながら、これからもがんばっていきたいです。

I will
Change my life!



国際ビジネス学科1年
宮下 日向子

私は、高専に入学して中学校までとはまるで違う生活に驚きながらも、充実した日々を送っています。授業は90分かけてじっくり行い、一般教養とさらに専門的な分野も1年次から取り入れられています。自分達の発言の場も多く、すべてが自己責任となるので、5年間で身につく力は大きいと感じました。また、寮では、常に他人と同じ部屋にいるという環境のため、協調性やコミュニケーション能力が求められますし、何よりも一人ひとりの自立が重要だと思います。私は、この5年間を通して勉強や部活動のみならず、自分の人間的な面も磨き、グローバルな社会に通用する人間になれるよう努力していきたいです。

成長を実感!



商船学科1年
福島 鴻生

高専に入り、非常に成長を実感しています。現在、級長をしています。責任感の大きさや学科の代表としての重圧は、短時間でたくさん学ばせてくれました。商船1年には空手が日本で1位の人や、映画に詳しい人、頭の回転がとても早い人など、様々な個性を持つ人がいます。そんな凄い人たち、素晴らしい学科を代表できることに、誇りや喜び、高揚を感じています。皆でともに成長し、全員で知恵や技術を磨いていくことが、私たちの目標です。支えてくれる友達や家族がいるので、これからも努力を惜しみません。人間として、リーダーとしての器を磨いていきたいです。

場所: 国立能登青少年交流の家



LL 教室での英語授業 (射水キャンパス)



キャンパス内風景 (射水キャンパス)



授業風景 (射水キャンパス)



新入寮生歓迎会 (射水キャンパス)



陸上部 (射水キャンパス)



フィナーレ



ステージ

北斗祭 第8回高専祭

テーマ「SOLE! — 一瞬で一生の輝きを —」

平成28年5月21日(土)・22日(日)、第8回高専祭—北斗祭が射水キャンパスで開催されました。メインステージを中心に、学科、学年、クラブ等による趣向を凝らした展示やパフォーマンス、模擬店販売が繰り広げられました。両日も多数の来場者があり、学生間の絆が深まるとともに、富山高専をアピールする機会となりました。



若潮丸試乗会



日本舞踊



吹奏楽部演奏



3 学年展示 (お化け屋敷)



仮装学生のPR



鉄道部展示



模擬店

北斗祭を通じて得たこと

北斗祭
実行委員長

国際ビジネス学科4年
伊藤 ゆかり



今年の北斗祭のテーマは「SOLE! ―一瞬で一生涯の輝きを―」でした。このテーマは、去年10月頃に北斗祭実行委員会のみんなで、頭をひねりながら考え出したものです。「SOLE」とは、イタリア語で「太陽」という意味です。北斗祭に参加する学生、お客さん、みんなが同じ「太陽」のもと、同じ場所で、目一杯楽しめるようにという気持ちを込めました。

昨年7月に始動して、北斗祭実行委員会全員で、様々な仕事をこなしてきました。みんなが北斗祭をよいものにしたいと、心をついにしてがんばったからこそ、今年の北斗祭が大成功したのだと思います。私は北斗祭を通じて、人に楽しんでもらえることが、どれだけうれしいかということを知りました。そして、北斗祭実行委員長として、学生一人ひとりの思い出を作る手伝いできたことは、とても光栄なことだと思います。北斗祭は一瞬で終わってしまいましたが、私にとって、一生心に残る思い出になりました。

最後に、北斗祭実行委員会、先生方、学生課の方々、北斗祭を支援していただいたすべての方々に、心から感謝を申し上げます。

不安だらけでも最高だった北斗祭

北斗祭
展示委員長

電子情報工学科4年
粉究 ひかり



私は、各クラス、クラブ、同好会の希望団体が円滑に展示を行えるよう、その取りまとめをする展示委員長を引き受けました。委員と着実に準備を進めていましたが、北斗祭が近づくにつれ仕事と不安が増えていきました。楽しみだった北斗祭がもうすぐだというのに、素直に喜べない自分がいました。

そして北斗祭前日、私は不安でいっぱいでした。しかし学生全員がとても協力的で、「次どこへ行けばいいですか?」「何かありますか?」などと多くの人が声をかけてくれ、スムーズに準備を終えることができました。みなさんの優しさに触れ、涙が出そうなほどでした。大変なことも多くありましたが、かけがえない本当に楽しい北斗祭でした。

北斗祭に参加して

鉄道部部长

機械システム
工学科4年

鈴木 裕貴



鉄道部は、鉄道模型ジオラマの製作と展示をメインに活動しています。北斗祭では、部員がそれぞれ製作したジオラマをつないで、その中を北陸新幹線などの車両を走行させました。今回のポイントは、ジオラマや車両を眺めるだけでなく、走っている列車の視点からの臨場感ある映像を楽しんでもらえるようにしたことです。車両に小型カメラをのせたカメラカーを走行させ、列車からの映像と運転台型のコントローラーによる運転体験してもらいました。カメラカーの映像と運転体験はどちらも好評で、子どもから大人までみなさんに楽しんでいただけた。とても嬉しく、やりがいを感じました。今後もより良い展示等ができるようがんばってまいります。

旧富山商船高等専門学校 北斗祭の思い出

第3回北斗祭とコロッケ

商船学科
学科長・教授

水谷 淳之介
(昭和53年9月卒業)



※富山商船高等専門学校の開校後、昭和46年5月に最初の学園祭が開催され、第2回から名称が北斗祭となり、3年に1度開催されました(平成15年以降は2年に1度開催に変更)。

「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃ損々」、徳島の阿波踊り歌の出だしであるが、学園祭もこの歌のように見る側でなく、運営する側の方に醍醐味があると思っている。

私が本校5年生の時、友人が第3回北斗祭実行委員長になり、一蓮托生(いちれんたくしょう)と言われ、私も実行委員に加わった。北斗祭の1週間前には新湊市内と富山の総曲輪、中央通りで宣伝パレードを行った。当時本校は地方からの出身者がほとんどで、山形県人会は花笠音頭を踊り、青森県人会はねぶた祭りのハネトに扮し、通りを跳ね、5年生は樽神輿を練り上げ行進した。その様子はなかなか華やかなものであったが、私にはその準備の方が記憶に残っている。

パレードの神輿や大きなうちわなどを作るため、知り合いの大工さんの作業場を借りて委員長と大工仕事をした。作業が終わったときは二人とも空腹で、近所の肉屋でコロッケを買い、四方(よかた)の海岸の防波堤に腰を下ろしてほおぼった。この時の熱々のコロッケの味は今でも忘れられない。あの味は60年近く生きてきた今でも、「今まで生きてきた中で一番おいしかった」と間違いなく言える。そんなコロッケの話と同期会で委員長と会うたびに思い出し、私たちがかけがえない財産になっている。



第3回北斗祭宣伝パレード (昭和52年5月7日)



メカトロ技術研究部展示



電子情報工学科展示



商船学科レーザシミュレータ展示



ステージ前での盛り上がり

学生会活動

Student Council

本郷キャンパス

学生会年間スケジュール

4月	第1回あいさつ運動 学生総会 対面式 クラブ活動紹介 評議会・委員会
5月	第1回環境美化活動
6月	本郷キャンパス球技大会
7月	北陸地区高専体育大会
8月	全国高専大会壮行会
10月	第2回あいさつ運動 全国高専大会報告会 ロボコン東海北陸地区大会応援 第1回リーダー研修会 第2回環境美化活動
11月	合同球技大会
12月	学生総会・学生会長選挙
1月	第3回あいさつ運動
2月	第2回リーダー研修会 学生会誌「わかたけ」発行
3月	合同リーダー研修会



本郷キャンパス

学生主事

青山 晶子



複眼で見よう

欧米の大学における教養教育は、「リベラルアーツ」と呼ばれます。その歴史は、奴隷ではなく自由人として生きるために必要な素養が教養とされていた古代ローマ時代にまで遡ります。欧米では、リベラルアーツで、学問の基礎となる幅広く深い教養を身につけた後、専門職大学院などの専門課程に進むのです。

教養教育が重視される理由は、専門知識という単眼に加え、教養というもう一つの目と合わせた「複眼」で物事を見る力を身につけるためです。広い視野で立体的に見れば、異質なものを受容したり、自由に発想したりすることも容易になるからでしょう。まさに、グローバル時代に求められる力です。

学生の皆さんには、高専時代にごそ、「複眼で見る力」を養ってもらいたいと思います。

本郷キャンパス

学生会長

菅野 光祐



挑戦の年

今年度の学生会は22名の役員から構成されています。

今年度の学生会は、新たな取り組みを積極的に考案、実践していこうと思っています。先輩方の伝統を引き継いでいくことも大切ですが、引き継ぐだけではなく、どこかで変化を加えていかなければ、より充実した学生会活動を展開していくことはできません。私たちがその変化をさせていくべきであると思っています。学生の声に深く耳を傾け、積極的に学生会外からの意見を取り入れることにより、学生会主体であった学生会活動を学生主体の活動へと変化させ、一人ひとりにとって意義のある活動にしていきます。学生会はリーダーとしてみなさんの活動を全力でサポートし、それぞれが活動の主体となるよう取り組んでいきます。

平成28年度 学生会執行部 役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
会長	菅野 光祐	4E	総務局副局長	笹川 奈津美	3C	会計局局長	布村 亮樹	4C	体育局局长	深山 友有治	4E	文化局局长	開保津 風馬	4M	広報局局长	松坂 拓郎	3M
副会長	岩折 葵	4C	書記渉外	岡山 美紗	2C	会計局副局長	酢谷 晃太	4C	体育局副局長	二宮 冬	3C	文化局副局長	中川 舞美	3C	広報局副局長	田島らい華	3E
副会長	松坂 拓郎	3M	企画 副局長	竹内 千尋	3C	会計局補佐	柳原 浩介	3M	体育局補佐	辻角 晃	2C	風紀局局长	岩崎 祐里	4C	広報局補佐	佐々木 勇希	3C
総務局局長	岩折 葵	4C	企画 補佐	丹野 颯人	2M	会計局補佐	梅次 琢朗	2M	風紀局補佐	松田 涼利	3C	風紀局補佐	濱住 和加	2C	広報局補佐	神田 皆人	2E

M=機械システム工学科, E=電気制御システム工学科, C=物質化学工学科

射水キャンパス

学生会年間スケジュール

4月	対面式 クラブ・同好会活動紹介
5月	北斗祭 評議会・委員会
6月	校門指導 海浜清掃
7月	北陸地区高専体育大会 校内カッターレース大会 七夕
8月	全国高専体育大会社行会
10月	海浜清掃 ロボコン東海北陸地区大会応援
11月	校門指導 合同球技大会
1月	学生会長選挙
2月	学生会誌「信天翁」発行 卒業生を送る会
3月	合同リーダー研修会



射水キャンパス

学生主事
塚田 章



積極的な課外活動を

5月に北斗祭が開催され非常に多くの方が来校されました。開催にあたっては、実行委員会の学生が中心となって準備を進めてきましたが、皆が初めての体験でうまくいかないこともたくさんありました。それでも、くたくたになりながら北斗祭が無事終わり、後片付けをしている彼らに充実感がみなぎっていました。このような体験を通して彼らは成長していくんだなとつくづく思いました。

高専の5年間を通して、体験重視型のカリキュラムにより学問的に成長することはもちろんですが、クラブ活動、学生会活動、学校行事などの課外活動で学生は一步步づつ人間的に成長します。成長の度合いは人それぞれですが、何事にも積極的に取り組む姿勢がその度合いを左右すると思います。有意義な高専生活を送ってください。

射水キャンパス

学生会長
瀬見井 佐和子



学生のための学生会を

学生自身が、学生のために心から働ける—それが私たちの学生会のよさだと自負しています。学生会では主に、学校行事の運営や過ごしやすい学校づくりのための活動を行っていますが、それらはすべて学生の手作りで、学生の声や要望が柔軟に活かされたものです。その責任の重さを実感しつつ、私自身は、学生のための様々な仕事を、役員のみならず力を合わせて行えることに日々喜びを感じています。学生生活は一人ひとりの学生のもですが、学校はたくさんの人の学生生活が重なり合って成り立っています。一人の学生として、社会に羽ばたくための大切な5年間を大切な仲間と過ごせることに感謝しながら、学生会長としてこれからも学生のため、学校のために力を尽くしていきます。

平成28年度 学生会執行部 役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
会長	瀬見井 佐和子	K4	会計	藤田 真帆	K4	美化委員長	伊藤 美彩	I4	文化委員長	松村 さくら	K4	風紀委員長	巻 美咲	I4	体育委員長	谷野 文哉	I4
副会長	粉塚 ひかり	I4	会計	背戸 颯希	K4	美化副委員長	高島 美樹	I4	文化副委員長	出野 弘揮	I4	風紀副委員長	上田 響生	I3	体育副委員長	丹保 りら	K4
副会長	若宮 翔	S4	総務委員長	高田 明莉	K4	交通委員長	岡本 翔太	S4	生協委員長	吉田 知生	K4				体育副委員長	川端 秀汰	S3
書記	添田 智之	I4	総務副委員長	篠崎 蓮	I4	交通副委員長	笹原 水月	S3	生協副委員長	浦井 真由	K3				体育副委員長	森内 麻友	K3
書記	波多野 世唯	K3															

I=電子情報工学科、K=国際ビジネス学科、S=商船学科

学生寮から

Dormitory

仰岳寮(本郷寮生会)

学生寮年間スケジュール

4月	開寮・新入生オリエンテーション(5日) 新入寮生歓迎会(20日)・寮生会総会(27日)
5月	第1回寮球技大会(12日) 学生寮避難訓練(24日)
6月	寮ボランティア活動(町内清掃)(16日)
7月	焼肉会(11日)
8月	部屋替え・寮内大清掃(10日) 閉寮(11日)
10月	開寮(2日) 第2回寮球技大会(12日)
11月	すき焼き会(9日)
12月	餅つき会(14日) 寮内大清掃(21日) 閉寮(23日)
1月	開寮(9日) 成人祝賀会(16日) 寮生総会(寮生会会長選挙、予餞会)(25日)
2月	寮議会(15日) 寮内大清掃(21日) 1~3年生閉寮(23日) 4・5年生、専攻科生閉寮(28日)



本郷キャンパス

寮務主事
櫻井 豊



食べられてしまったカレー

会社の新人時代、同年代の社員ら数名で独身寮にいた時の話です。

松茸と海老の塩焼を食しているところを先輩達に見つかり、以来「グルメ櫻井」と呼ばれる事になりました。確かに私は、「美味しい物を食べるには自分で料理をしないとダメ」という信念を持っていました。

ある週末、手間暇をかけて特製のカレーを両手鍋一杯作りました。調理の達成感で、つい昼寝をしてしまいました。しばらくして、目を覚まして台所に行くと、そこには、きれいに空になった鍋と炊飯器が。

「美味しかったよ、俺たちのために」と。いい歳になっても、学生気分の抜け切らない連中の仕業でした。犯人達には、私より年下の者もいましたが、企業では1年でも先に入った方が先輩なのです。

本郷キャンパス

仰岳寮総代
有磯 廉矢



寮生活で得られるもの

寮にはいいところがたくさんあります。例えば、学年を越えて楽しむことができる行事がたくさんあることです。学校の行事とは別に球技大会があったり、焼肉会や餅つき会などの食のイベントがあったりと、行事が豊富で、これを通して他学年とも親しくなれるというのも寮ならではの良さです。また、寮の規則を守る、集団の中で規律をもって生活できる、きちんとしたあいさつができるというのは社会に出て生かされることで、寮という集団生活で日常的に行っているからこそ身につくものです。他にも、勉強でわからないことがあっても身近な友達と教え合うことができるし、上級生が下級生に勉強を教えるチューター制度というものもあり、お互いに高め合うことができます。このように寮生活を通して得られるものは多く、一人ひとりを人間的に大きく成長させてくれます。

平成28年度 寮生会役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
総 代	有磯 廉矢	4E	総務委員長	木下 彩	3C	体育委員長	浦島 陽	4M	規律委員長	笹川 大輔	4E
副 総 代	海老 秀虎	3E	会計委員長	坂東 郁花	4C	厚生委員長	布村 亮樹	4C	ネットワーク 管理委員長	佐野 智也	4E
			文化委員長	嶋田 颯太	4M				会計監査委員	深山 友有治	4E

M=機械システム工学科、E=電気制御システム工学科、C=物質化学工学科

和海寮(射水学寮会)

学生寮年間スケジュール

4月	開寮・部屋移動(4日) 入寮式・新入寮生オリエンテーション(5日) 学寮総会・新入寮生歓迎会(25日) 閉寮(28日)
5月	開寮(5日) 北斗祭(21日・22日)
6月	服装等校門指導(20日) 防火訓練・自転車点検(20日)
7月	花火大会(20日) 寮内大掃除(26日)
8月	閉寮(9日)
9月	開寮・部屋移動(22日)
10月	商船学科4年生大型練習船長期実習開始(1日)
11月	服装等校門指導(7日) ハロウィーンパーティ、防災訓練
12月	クリスマス会、スポーツ栄養講座 閉寮(22日)
1月	開寮(9日)
2月	学寮会長選挙(18日) 文集「かもめ」発行 寮内大掃除 5年生退寮・閉寮(27日)



射水キャンパス

寮務主事
梶 伸司



「自主・自立」と「共存・共生」の実践

高専の卒業生には、専門知識だけでなくチームでの活動能力も要求されますが、その中でも最近では、他者と適切な距離感を持って接する感覚をもつ人や、自身やチームメンバーのストレスを制御しながら仕事を進められる人が求められており、寮生活は、こうした能力を磨く場としても有効と考えられます。

和海寮でも、様々な年齢、それぞれの個性を持つ学生達が共同生活を行っておりますが、各学生には、各々の生活や健康の管理だけでなく、清掃や学寮運営をとした和海寮への貢献、さらには他の学生への積極的支援などを期待しています。

個性豊かな和海寮の学生が、日々の大小の失敗や成功を通して「自主・自立」・「共存・共生」を学び、未来を支える人材として着実に成長している姿を頼もしく思っています。

射水キャンパス

学寮会長
佐藤 俊哉



ルールと伝統

和海寮では、現在およそ200人の学生が暮らしています。当たり前のことですが、一人ひとりが異なる意見や習慣を持ちながら生活をしています。そういった環境の中で大勢が暮らしていくためには、ある程度のルールが必要になってきます。寮に入って細かいルールの多さに不便を感じた人は少なくはないと思いますが、意外と気がつかない所では、ルールに助けられている部分もあるのです。

また、この寮には現状にそぐわなくなったルールがいくつかあります。伝統だからと、ただ引き継ぐのではなく、それらのルールを見直し、本当に必要なルールのみを残していくことで、全員が今よりも暮らしやすいと思えるような寮を築いていきたいと思っています。

平成28年度 学寮会役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
学寮会長	佐藤 俊哉	S4	IT管理委員長	比嘉 悠介	I4	一階707長	笹谷 泰二	S5	女子寮長	前 美羽音	S4	企画委員長	伊藤 ゆかり	K4	女子707長	山崎 若菜	K3
風紀委員長	川端 秀汰	S3	会計委員長	丹羽 庸	K3	二階707長	吉田 知生	K4	女子寮長補佐	竹岸 理沙	K4	広報委員長	粉究 ひかり	I4			
環境委員長	長谷川 慎太郎	S4	低学年指導長	上田 啓太	S3	二階707長補佐	安藤 隆泰	S4	設備委員長	巻 美咲	I4	選挙管理委員長	眞砂 玲奈	K4			
			低学年副指導長	岡本 凌河	S3	三階707長	木村 祐太郎	S3									
						四階707長	屋敷 真吾	I3									

I=電子情報工学科、K=国際ビジネス学科、S=商船学科

新任教員紹介

New Teachers



国際ビジネス学科 准教授

清 剛治

射水キャンパス

これまで大学機関にて、社会科学領域における教育・研究を推進してきました。引き続き、グローバルに競争優位性をもてるような学生を、育成していきたいと考えています。



国際ビジネス学科 講師

那須野 育大

射水キャンパス

経営学・商学の専門科目を担当します。昨年度まで、中央大学政策文化総合研究所で、地域経営に関する研究を行っていました。教員の仕事は初めてですが、学生の選択肢を広げるお手伝いをできればと思っています。よろしくお願いたします。



商船学科 准教授

向瀬 紀一郎

射水キャンパス

出身は石川県羽咋郡です。昨年度までは愛媛県の弓削商船高専に勤めておりました。本校では船舶工学の授業を担当しています。北陸から世界に羽ばたく人材の育成と、地域産業の振興に、取り組んでまいりたい存じます。



商船学科 講師

福留 研一

射水キャンパス

海洋物理を軸に据え、沿岸海洋における流れや環境の計測と理解に取り組んできました。富山湾周辺の海洋環境や水産資源の変動の研究を通して、地域社会に貢献できればと考えています。よろしくお願いたします。



一般教養科 准教授

楽山 進

射水キャンパス

専門は英語教育学です。初等教育から高等教育までの指導経験を生かし、学習者の発達段階と特性に応じた指導の在り方について研究しています。どうぞよろしくお願いたします。



一般教養科 助教

林 直人

射水キャンパス

体育授業を担当します。運動動作の測定・分析から、運動プログラムの開発や実際の指導に活用する方法を研究しています。学生さんの成長の一助になればと思います。よろしくお願いたします。



練習船若潮丸一等機関士 助教

野村 誠

射水キャンパス

近年、船舶においても益々高い省エネ・環境性能が求められています。今後の海運業界を担う船舶職員の育成のため、これまでの経験を活かし学生のお役に立てればと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



練習船若潮丸一等航海士 助教

金山 恵美

射水キャンパス

技術室技術専門職員からの配置換えです。本校卒業後フェリー会社で航海士として乗船した経験を活かし、学生たちに海・船に興味を持ってもらえるような実習にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

学級担任一覧

本郷キャンパス

	機械システム 工学科	電気制御 システム工学科	物質化学 工学科	学年主任
第1学年(担任)	横山 恭子	宮崎 真矢	足立 繭子	富田 尚
(副担任)	池田 英俊	池田 慎治 井澤 正樹	森田 康文	
第2学年(担任)	仁木 康浩	長谷川 貴之	福田 知博	津森 展子
(副担任)	吉川 文恵	柴田 博司	中島 栄次	
第3学年	佐瀬 直樹	多田 和広	高松 さおり	
第4学年	浅地 豊久	石田 文彦	篠崎 由紀子	
第5学年	豊嶋 剛司	百生 登	峰本 康正	
3,4,5学年補佐	高橋 勝彦	古川 裕人	安田 賢生 後藤 道理	

射水キャンパス

	電子情報 工学科	国際 ビジネス学科	商船学科	学年主任
第1学年(担任)	寺崎 由紀子	岡本 勝規	近藤 周吾	岡部 寛子
(副担任)	門村 英城	萩原 信吾	篠島 司郎	
第2学年(担任)	大橋 千里	山本 有希	山村 啓人	河合 均
(副担任)	楽山 進	清 剛治	西井 典子	
第3学年	櫻井 秀人	○長谷川 博	河合 雅司	
3年学年補佐	星野 朱美			
第4学年	篠川 敏行	村山 雅子	○笹谷 敬二	
4年学年補佐	星野 朱美			
第5学年	○秋口 俊輔	宮崎 衣澄	見上 博	
5年学年補佐	西井 典子			
実習生			八賀 正司	

○=学年代表

Toyama Kosen News & Topics

ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。
(<http://www.nc-toyama.ac.jp/>)

中国東北大学と 国際セミナーを開催

平成28年3月24日(木)、中国遼寧省瀋陽市の東北大学(Northeastern University)から研究者を招聘し、本校と同大学の共催で国際セミナーを開催しました。本校と東北大学は、より深化した国際交流を目的として、平成22年10月に連携協定を再調印しています。毎年、国際セミナーを交互に開



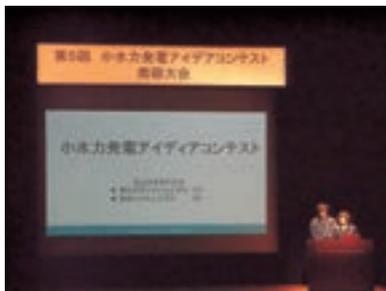
催することになっており、平成26年度は東北大学で開催したことから、平成27年度は本校で開催したものです。

本セミナーは本校本郷キャンパスを会場として、両校から延べ37名が出席しました。本校の石原校長および東北大学の秦教授がそれぞれ英語による基調講演を行い、

また両校の研究者が研究成果を発表するとともに、活発な質疑応答や意見交換が行われました。このセミナーは、両校の教職員が相互の理解を深め、研究・教育面における今後の協力に向けたきっかけを得る機会となりました。



第5回小水力発電 アイデアコンテストに出場



第5回小水力発電アイデアコンテストが、平成28年3月21日(月・祝)に富山県南砺市城端地区にて開催されました。

地元開催である平成27年度は本校が運営事務局を担当し、開会式では大会長である本校石原校長が東海北陸地区高専7チームへ激励の言葉をかけられました。

各チームは、約1年間にわたり設計・製

作した装置をそれぞれが選定した設置場所の水路に設置し、発電量や発電した電力の用途についてプレゼンを通してアピールを行いました。コンテストには、地元住民の方々をはじめ多数の一般参加者が訪れました。

富山高専チームは、下掛け三連水車と負荷のLEDイルミネーションを製作しコンテストに臨み、健闘し、技術賞第2位を受賞しました。なお今年度の大賞は豊田高専チームが受賞しました。

第6回コンテストは、平成29年3月に岐阜県高山市にて開催予定で、今後も富山高専チームの活躍が期待されます。

射水市体育協会表彰優秀選手 一般表彰を受賞

平成28年2月14日(日)、公益財団法人射水市体育協会により、平成27年度表彰式が開催され、国際ビジネス学科5年の池田

真子さんと商船学科4年の中野三恵子さんが優秀選手一般表彰(団体)を受賞しました(学年は現在のもので表記)。

この賞は、文部科学省、公益財団法人日本体育協会およびその加盟団体が主催する全国大会に出場し、優勝した団体に贈られるものです。両名は第50回全国高専体育大会バドミントン競技女子ダブルスで優勝したことを受けて、射水市のスポーツ水準向上の貢献が評価され、平成27年度に優秀選手一般表彰を受賞しました。



問い合わせ先

本郷キャンパス : 〒939-8630
射水キャンパス : 〒933-0293

富山県富山市本郷町13番地
富山県射水市海老江練合1番2

TEL 076-493-5402
TEL 0766-86-5100

<http://www.nc-toyama.ac.jp/>

高専通信17号編集担当 海老原 毅(編集長) 吉川 文恵 櫻井 秀人 池田 慎治



富山高等専門学校

夏季オープンキャンパス OPEN CAMPUS 2016

夢見る力をつくる力へ

本郷キャンパス

8月6日(土)・7日(日)

午前の部 9:00~11:40、午後の部 13:00~15:40

射水キャンパス

8月10日(水)・11日(木・祝)・12日(金)

9:00~11:30

オープンクラス概要

本郷 機械システム工学科

- コース1 巨大ロボットの作り方~巨大ロボットは大地に立つか?~
- コース2 『体験!! 3次元CAD』~コンピュータでものづくり~
- コース3 ものづくりコンテスト 卵を守れ!
- コース4 3Dプリンターでものづくり体験

本郷 電気制御システム工学科

- コース5 歩けっ!人型二足歩行ロボット!!
- コース6 この世界はコンピュータにどう映る?~コンピュータの目の世界へようこそ!~
- コース7 雷センサーをつくろう

本郷 物質化学工学科

- コース8 炭を使って水をきれいにしてみよう!
- コース9 描ける導線~化学と電気の世界をつなぐ~

射水 電子情報工学科

- コース10 『スマホアプリって自分で作れるの?』
- コース11 ロボットの頭脳とは~LEGOを使ったプログラミング実験~
- コース12 はじめての電子工作
- コース13 モバイル端末で遠隔操作しよう

射水 国際ビジネス学科

- コース14 異文化について学ぼう

射水 商船学科

- コース15 若潮丸体験航海(航海士・機関士の仕事)

射水 一般教養科

- コース16 English at Kosen
- コース17 映画で学ぶ英語リスニング攻略法
- コース18 すぐに使える簡単な中国語会話!

申込・
お問い合わせ

本郷キャンパス学務課

TEL 076-493-5498 FAX 076-493-5488
E-mail:gaku@nc-toyama.ac.jp

射水キャンパス学生課

TEL 0766-86-5145 FAX 0766-86-5130
E-mail:nyushi@nc-toyama.ac.jp

今後の行事予定 (8月~12月)

月	本 科	専 攻 科	学外行事
8	前学期末試験(7・8月) 夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月)	夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月)	全国高専体育大会(8・9月)
9	保護者懇談会(射水) 卒業式(商船学科)	修了式(海事システム工学専攻)	
10	後学期授業開始 県外工場見学・流通見学(4年生) 県内工場見学(3年生) 校外研修(2年生) 消防訓練	後学期授業開始 入学式(海事システム工学専攻) 消防訓練	プログラミングコンテスト(全国大会) ロボットコンテスト(東海北陸地区大会)
11	企業研究会 秋季オープンキャンパス 合同球技大会 後学期中間試験(11・12月)	企業研究会 合同球技大会 学力入試(後期日程)	ロボットコンテスト(全国大会) 英語スピーチコンテスト(東海北陸地区大会)
12	冬季休業(12月・1月)	冬季休業(12月・1月)	デザインコンペティション(全国大会)

本校が担当して開催する高専行事のご案内 本校生の活躍が富山県内で見られます。応援をよろしく願っています。

8月

第51回全国高等専門学校体育大会 水泳競技
日程 8月21日(日)
会場 富山県総合体育センタープール 〒939-8252 富山市秋ヶ島183

第51回全国高等専門学校体育大会 バドミントン競技
日程 8月20日(土)・21日(日)
会場 高岡市民体育館 〒933-0044 高岡市古城1番8号

10月

アイデア対決全国高等専門学校
ロボットコンテスト2016東海北陸地区大会
日程 10月9日(日)
会場 氷見市ふれあいスポーツセンター
〒935-0025 氷見市鞍川43-1

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。